

**「インパクト投資とグローバルヘルス」に係る研究会
資料1 第3回研究会補助資料**

第3回研究会では、本研究会の中間報告ペーパーの内容に関する議論と、企業のヒアリングから得られた事業者側の問題意識・課題感に基づく議論を中心に実施いただくことを想定している。

目的	<ul style="list-style-type: none"> 日本開催の2023年G7に向け、民間のGH分野への投資拡大を促す取組として紹介できるような成果を出す。 	想定成果物	<ul style="list-style-type: none"> GH分野におけるインパクト投資の拡大に向けた方策案 GH分野におけるインパクトの測定・可視化に適した方法とそれを実現するための支援策案
----	---	-------	--

時期	2022					2023		
	8	9	10	11	12	1	2	3
マイルストーン						○中間取りまとめ		○最終取りまとめ
マイルストーン	◆ 第1回		◆ 第2回		◆ 第3回		◆ 第4回	◆ 第5回
検討フェーズ	前提確認方針決定		GH分野の製品・サービス別のインパクト投資の現状・課題整理とインパクトの特徴整理			GH分野でのインパクト投資拡大に向けた方策の検討		検討結果の取りまとめ
回	第1回		第2回		第3回		第4回	第5回
アジェンダ	<ul style="list-style-type: none"> インパクト投資の現状・課題と対象製品・サービス 研究会の最終成果物 		<ul style="list-style-type: none"> インパクトの測定・可視化・マネジメントの課題 本研究会で取り扱う活動・取組及びインパクトの選定 		<ul style="list-style-type: none"> 企業の活動・取組毎のインパクト測定の現状・課題、特有の特徴 (中間報告に関するフィードバック等) 		<ul style="list-style-type: none"> GH分野のインパクト測定・可視化に係る課題と方策 	<ul style="list-style-type: none"> GH分野におけるインパクト投資拡大に向けた方策
想定成果物	<ul style="list-style-type: none"> インパクト投資を取り巻く現状・課題のまとめ (GH分野仮説含む) 本研究会で検討対象とする製品・サービス G7に向けた成果物イメージ 		<ul style="list-style-type: none"> インパクトの測定・可視化・マネジメントの課題 本研究会で対象とするGH分野で創出するインパクトの候補 第3回研究会で検討対象とする日本企業の活動・取組の候補 		<ul style="list-style-type: none"> 第2回で選定した企業の活動・取組に関する下記の論点を具体化 <ul style="list-style-type: none"> IMM実施における課題 事業者側の課題に対する解決施策案 		<ul style="list-style-type: none"> GH分野の製品・サービス毎のインパクト測定・可視化に適した方法 事業者の規模や状況に応じたインパクト測定・可視化に向けた支援策 インパクト加重会計の観点からの評価 	<ul style="list-style-type: none"> 投資家・事業者のそれぞれがインパクト投資・事業を活発に行うために政府が採るべき施策案 上記施策案の実行・成果の実現に向けたロードマップ
					本日			

※第1回研究会の内容を踏まえて第2回以降の記載内容を一部修正した。²

【方針】インパクト投資を通じてグローバルヘルス分野の民間企業の取組を活発化させるための方策について、今後は大企業とスタートアップで分けて検討を進めていく方針である。

<p>討議の前提となる背景</p>	<ul style="list-style-type: none"> □ インパクト投資は、社会課題解決志向のスタートアップ企業が資金調達をする手段として先駆的に実践されてきた。 □ 現在では、海外ファンドで規模の大きいインパクト投資の実績も出始めており、目下の課題はインパクトの測定・マネジメント（IMM）が断片的で体系化されていないことに起因する、インパクトウォッシングの懸念等が挙げられている。 	
<p>本研究会の問題意識</p>	<ul style="list-style-type: none"> □ UHC（ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ）を実現するためには、より多くのプレーヤーがグローバルヘルス分野の活動・取組に加わることが望ましいが、特に貢献を期待している民間企業は経済的リターンの低さゆえに資金調達が難しい。 □ その解決手段としてインパクト投資に注目しており、①大企業の巻き込みと②スタートアップ企業への更なる投資の両面から検討を加えて、インパクト投資を通じたグローバルヘルス分野の民間企業の活動の活性化を図りたい。 	
<p>内容</p>	<p>大企業向けのインパクト投資拡大方策検討 (主にインパクト会計を中心に)</p>	<p>スタートアップ企業向けのインパクト投資拡大方策検討 (主にインパクト投資を中心に)</p>
<p>目的</p>	<ul style="list-style-type: none"> □ グローバルヘルス分野における大企業の事業のインパクトの設定、測定・マネジメントの現状・課題を整理し、解決に向けた方策を検討する。 □ 財務的及び非財務的な情報の可視化を通じた企業価値向上（市場マルチプル向上）に向けた方策を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> □ グローバルヘルス分野におけるスタートアップの事業のインパクトの設定、測定・マネジメントの現状・課題を整理し、解決に向けた方策を検討する。
<p>方針</p>	<p>第2回</p> <ul style="list-style-type: none"> □ グローバルヘルスのバリューチェーン毎に企業の活動を俯瞰し、今後インパクトを測定・マネジメントすべき対象を選定する。 	<ul style="list-style-type: none"> □ グローバルヘルス分野への貢献が期待できるスタートアップ企業の内、本研究会への協力が期待できる企業を選定する。
	<p>第3回</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 選定した大企業の活動のロジックモデルを試作し、インパクトの設定・測定・マネジメントに関する事業者側/投資家側それぞれが直面する課題を整理する。 	<ul style="list-style-type: none"> □ 選定したスタートアップ企業の活動のロジックモデルを試作し、インパクトの設定・測定・マネジメントに関する事業者側/投資家側それぞれが直面する課題を整理する。
	<p>第4回</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 大企業の振る舞いを変化させることが期待できるインパクト加重会計(IWAI)の適用も見据えた、インパクトの測定・マネジメントの課題解決策に関して検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> □ インパクトの測定・マネジメントにおけるスタートアップ企業ならではの課題の解決策に関して検討する。
	<p>第5回</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 上記検討を通じて導出した課題及び解決策を取り纏めて、グローバルヘルス分野におけるインパクト投資の促進に向けた統合的な施策案と実現に向けて必要となるアクション（取組）について検討する。 	

目次

内容

- 1 中間取りまとめについて
- 2 グローバルヘルス事業者が直面するインパクト投資に係る課題解決に向けた討議
- 3 グローバルヘルス分野におけるIMM実践の促進に向けた討議



1. 参考情報

グローバルヘルス事業を展開している大企業3社、スタートアップ企業2社のヒアリング結果を踏まえて、インパクト投資全般に係る課題やIMMの課題の解決案を討議いただきたい。

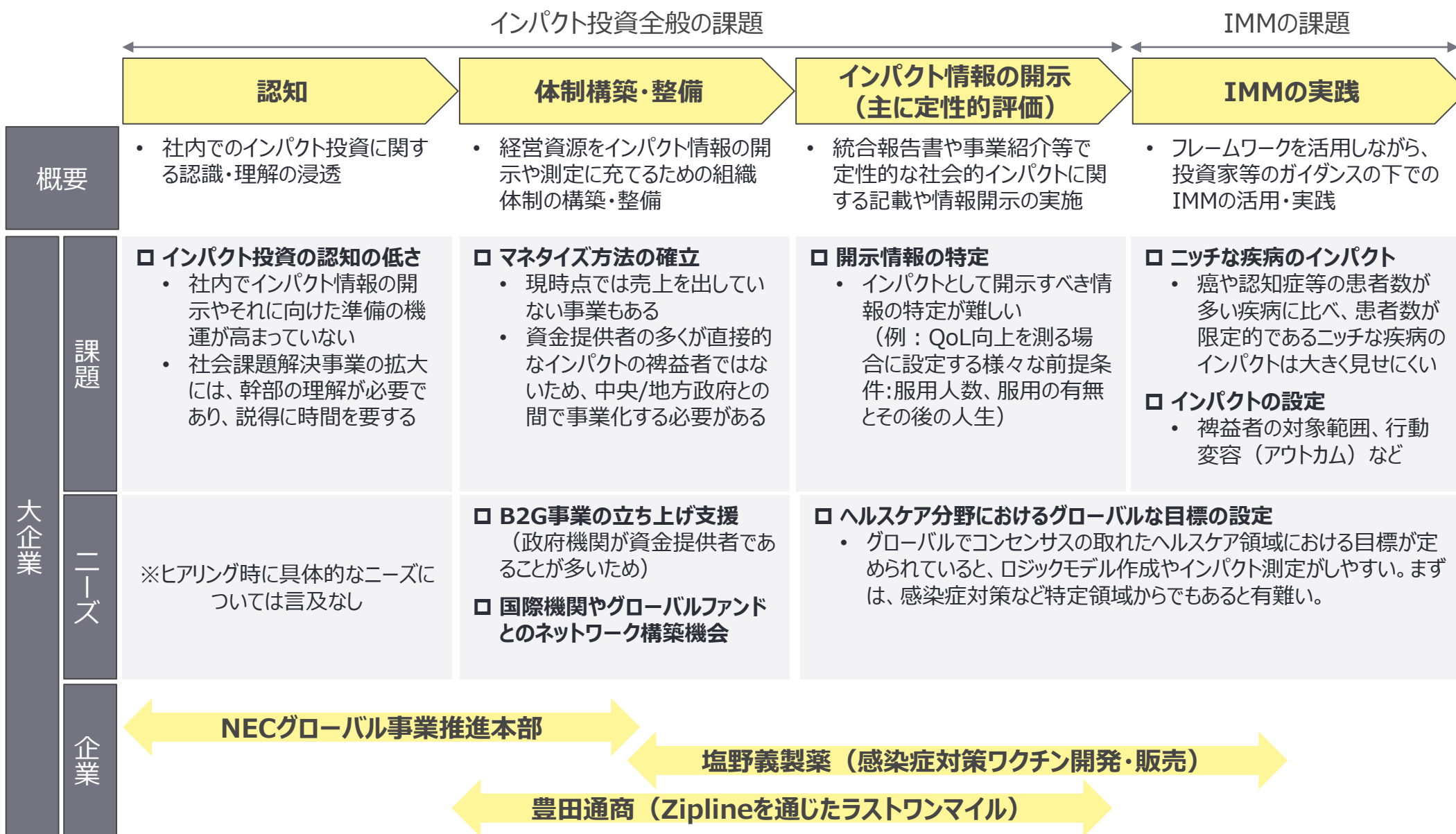
アジェンダの概要（検討する支援策のイメージ）

アジェンダ	グローバルヘルス事業者が直面するインパクト投資に係る課題解決に向けた討議	a	インパクト投資の認知促進	<ul style="list-style-type: none"> □ 企業価値向上の手段の一つとしてインパクト「測定」があることの認知促進 □ 出資者（資金提供者）の側面を持つ大企業がスタートアップに投資をする際の判断軸としてインパクトがあることの認知促進
		b	インパクト情報開示のための経営資源支援	<ul style="list-style-type: none"> □ インパクト投資家との対話ができ、IMMにも精通した人材融通制度 □ インパクトKPIの測定に資するマクロ情報の共有等の支援策
		c	マネタイズ支援	<ul style="list-style-type: none"> □ 公益性の高い事業の資金提供者を見据えた、B2G（対政府/地方公共団体）ビジネスを実現するためのバックアップ支援策 □ 国際機関やグローバルファンドとのネットワーク構築支援
	グローバルヘルス分野におけるIMM実践の促進に向けた討議	d	目指すべきアウトカムの設定	<ul style="list-style-type: none"> □ 感染症対策や母子の保健対策における、最終的な裨益者の設定やインパクト/アウトカムの範囲等の標準型について議論する
		e	アウトカム測定のモデル化	<ul style="list-style-type: none"> □ 感染症対策や母子の保健対策における、標準的なアウトカム測定の手順・考え方について議論する □ アウトカム測定に必要な社内データ・マクロデータの標準について議論する
		f	情報開示の在り方	<ul style="list-style-type: none"> □ インパクトウォッシングとならず、適切に社会的インパクトを開示していることを何を以て担保するか、情報開示はどの程度なされるべきかを議論する
		g	インパクトマネジメントプラクティスの提供	<ul style="list-style-type: none"> □ 測定したインパクトを高めていくための取組として、事業者と投資家の間でどのようなやり取りがなされるべきかの“あるべき姿”について議論をする

グローバルヘルス事業者へのヒアリング結果も参考にしながら、a~gについて討議いただきたい

【大企業のヒアリング結果】

NEC、豊田通商（出資先のZipline）、塩野義製薬のヒアリング結果のサマ리를整理した。



【スタートアップ企業のヒアリング結果】

CureAppとSORA Technologyのヒアリング結果のサマ리를整理した。

